

参考様式第1及び参考様式第2の別添3

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆ C-5-8-2	事業名	(19)地域資源利活用促進支援事業
事業概要	全体事業費：48,935千円		
<p>1 事業名：ナマコ増殖推進・販売促進事業</p> <p>2 事業の目的 久慈市では、ナマコのウニ、アワビに次ぐ特産品としての可能性を探るため、漁協、水産加工業者や県振興局とも連携し、「ナマコ研究会」を発足させ、ナマコの試験増殖等の取組を行ってきたが、東日本大震災により、ナマコ蛸集施設が流出したため、中止せざるを得なくなっていた。 復旧・復興事業により、漁村の生活インフラや漁港等の生産インフラの整備が概ね完成する中、漁業の復興のため再び、ナマコの産地化に取り組みたいとの要望が漁協・漁業者からあがり、これを受け、漁業集落復興効果促進事業（事業番号C-5-8-1）でナマコの試験増殖事業を平成28年度に実施した。 試験増殖事業は、久喜漁港、舟渡漁港、横沼漁港に蛸集施設を設置し、稚ナマコを放流、3ヶ月後のモニタリング調査では、放流稚ナマコの約2/3の生息が確認され、全長も良好である等、高い増殖効果が確認された。 そこで、本事業では、引き続いてモニタリング調査を実施し、ナマコの成長や漁港施設・天然漁場への移動（しみ出し）を追跡、各漁港環境ごとのナマコの成長過程や親ナマコの蛸集効果等を調査するとともに、生産性を向上させるための漁業者用の技術資料を整理する。加えて、当地区のナマコ漁は外注ダイバーにより実施されており、コストが高く漁業収入を圧迫するため、水揚げの阻害要因となっていることから、漁業者が自ら行える効率的な漁獲方法を開発し漁獲コストの低減を図る。 また、久慈産ナマコのブランド化を図るため、PR資料の作成・配布等のPR活動を実施する。</p> <p>3 事業の内容 【平成28～29年度】 ・蛸集施設の設置 ・モニタリングの実施 ・調査結果の整理 【平成30～平成31年度】 ① ブランド化に向けた課題の整理 ② 蛸集施設利用による種苗放流マニュアル作成 ③ 蛸集施設の維持管理の更新の課題と対策の整理 ④ 漁業者自ら行える漁獲方法の開発 ⑤ 久慈産ナマコの特徴の整理 ⑥ 蛸集施設の機能の検証 【平成32年度】 ⑦ 販売促進のためのPR資料等の製作 ⑧ 物産展への出展等のPR活動 ⑨ 販売に係る諸課題の整理・解決策の検討</p> <p>4 基幹事業との関連性 基幹事業で住宅用地、集落排水施設等、漁村コミュニティの再生に必要な施設の整備を行っているところであるが、漁村コミュニティの維持のためには地域の経済を支えている漁業の復興が必要不可欠である。 本効果促進事業は、ナマコの事業化・ブランド化を図るものであり、漁業の復興に寄与するものである。</p> <p>5 事業期間 平成28～32年度</p> <p>6 事業費 14,148千円（28年度）、19,787千円（30年度）、5,000千円（31年度）、10,000千円（32年度）</p>			

※ この様式は、原則として、参考様式第1の別添2に記載した細要素事業名ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。